

# 2022年3月13日 主日礼拝

司 会  
祈 禱  
奏 楽

賛 美 聖歌498番「歌いつつ歩まん」  
(海と空つくられた主は) (心静かに)

使徒信条

聖 書 ①②④ ルカによる福音書12章13～15節 (P109)  
③ コリント人への第二の手紙6章1節～10節 (P283)

音 楽 The Blessing Japan (V)

メッセージ ①②④ 「大切な質問」 佐々木智行副牧師  
③ 「老いを愉しむ」 大川従道主任牧師 (V)

賛 美 「主がわたしの手を」(聖歌651番) 献金

頌 栄 「シャローム・シャローム」 アーメン  
祝 禱

「まさしく今、神様はあなたがたを、喜び迎えようとしておられます。今日、救おうとしておられます。」第二コリント6の2(「B」日常語訳)

## 【大和ニュース】

☆大川牧師ご夫妻は、本日沖縄隣人教会での礼拝メッセージ、昨日は白い家教会での聖務。あと5回守られ、元気でお戻りになれるよう、みんなでお祈りしましょう。  
・本日、JPLUS ワークショップ(青年・学生・中高生)、YouTube でもキャッチできます！(14:30) 役員会(12時半)、第四礼拝(18時)も行います！



- \* 今週の祈禱会は大川師のスペシャル映像①水曜19:30 ②木曜10:30
- ・春が近づいています！早天祈禱会、火曜～土曜、朝6時。毎朝祝福されています。
- ・土曜の御花、御掃除(12時)への御協力感謝します。聖歌隊も募集中(13時半)
- ・明るく、元気で、ノビノビと過ごしましょう！先週の日曜礼拝は、1352人(内YouTube ライブ908人)。祈禱会390人(内YouTube ライブ258人。チャンネル登録も御願います！)

## 石の枕

主任牧師大川先生の文章がリビングライフ3月号に掲載されています。これは歴史に残すべき内容だと私(坪井師)は感動しています！一部ですがご覧ください。

\*\*\*\*\*

今、私がお仕えしている教会は、51年間も牧会しておりますが、これまで死にたくなるほど苦しかったことが何度もあります。戦後の貧しさもイヤでしたが、牧会等の苦しみも遠慮したいと思ってしまいます。

しかしながら、苦の中の恵みを証ししますなら、水がぶどう酒に変わるような奇跡は、まさに心臓が止まるのではないかと思えるような苦しみの中でしか味わえなかったということです。すなわち、あの苦しみがなければ、あのレベルの恵みの味わいはなかったと、ハッキリと言うことができるのです。

「十字架なくして王冠はなし」(no cross, no crown)、

「雨なくして虹はなし」(no rain, no rainbow)。

これらは、人生における教訓レベルのことばではありません。完全に行き詰まり、もはやお手あげという状況の中で自我を十字架につけて殺し、聖霊様の油注ぎを受け、繰り返し繰返し与えられる油注ぎの豊かさを経験する、まさに「私の杯はあふれています！」という至福の霊界の恩寵を物語っているのです。そのような中でこそ「苦難は人を育てる」、さらに言えば「苦難を通してのみ人は育てられる」ことを実感することができます。この世界の分からない人は、あの世界は分かりません。

これらは、イエス・キリスト様が、「自分のたましいの激しい苦しみのおとを見て、満足する」(イザヤ53: 11、欽定訳聖書では”He shall see of the travail”)という悟りにつながるのではないのでしょうか。現代の日本宣教は、まさに陣痛、産みの苦しみの最中と言えます。それにしても、漢字の「苦」は、カルバリーの丘の上で、イバラの冠をかぶられたイエス・キリスト様の十字架を模しているように見えます。これは、今回の執筆の中での大発見でありました。

「私はキリストとともに十字架につけられました。もはや私が生きているのではなく、キリストが私のうちに生きておられるのです」(ガラテヤ2: 19～20)

宿題(祝大) 今週もむさぼるように聖書を読みましょう！

Aコース:マルコ14章～ルカ1章 Bコース:申命記20章～34章